

国境を越えて、人種の枠を越えて

塚田 佳奈実

第 43 回トーランス派遣の出発日に搭乗予定の航空会社に大規模なシステムトラブルが発生し欠航となり成田に一泊しましたが、KIRA、旅行会社の方々の交渉、努力により翌日にはデトロイト経由ラスベガス便を確保、そして陸路でトーランスに入る事が決定し出発。全員が無事にトーランスに着くことができました。結果、2 日間の予定は中止になり到着は真夜中となりましたがホストファミリーや TSCA の方々はとても暖かく迎えてくださり感動しました。

私が特に興味を持って見てきたのがショッピングセンターやスーパーマーケットです。

私がまずビックリしたのがアメリカの朝食として一般的と言われているシリアル売り場です。日本の一般的なシリアル売り場の五倍以上はあるでしょうか。見たこともない様々な種類の商品が並んでいました。

次に食品も飲料もひとつあたりの分量が多い事。最近日本にも米国の「COSTCO」が出店していますので初めて見たわけではありませんが、連れて行ってもらったスーパー全てに巨大な商品が並んでいました。トーランス生の 1 人にアメリカ人は頻繁に買い物に行かないので一度に大量に買うからだと言明を受けました。その為なのかホストファミリー宅の冷蔵庫は家族の人数が私の家と変わらないのに二倍の大きさ。キッチン以外のガレージにも冷蔵庫がありました。

そしてまとめ買いが多いからかスーパーのレジが非常に混雑しています。最近、日本でも増えているセルフレジの他に 10 品以内の買物客専用のエクスプレスレーンというレジがあり少量の買い物しかしないお客の待ち時間の短縮になっていました。

今回の交換派遣で私の家にホームステイしたトーランス生はベジタリアンでしたので、どのような食事を喜んでくれるのかとても悩みました。日本ではベジタリアンの為の食品売場を見たことがなかったのですが、トーランスのスーパーでは野菜で作られたハンバーグやソーセージなど様々な種類のベジタリアン対応商品が並んでいる売場がありました。

「人種のサラダボウル」といわれるアメリカだからこそ様々な国や文化の違う人に対応した商品が売られていると思いました。また、トーランスは日系人が多い為、日本食の材料や日本メーカーの菓子類が多く売られています。同じ米国内でも地域によって人種割合によるお客様の好みによって売場の商品内容にも差がある様です。

2020 年のオリンピックは日本で行われます。そしてオリンピック観戦に多くの外国人が来日するでしょう。今回の交換派遣で初めて接した菜食主義の方をはじめ様々な日本とは異なる国籍、宗教、主義の方々が便利に安心して滞在を楽しめる様、日本の文化を守り伝えつつも対応できる施設、店舗などが増えると良いと思いました。

私はアメリカ本土に行ったのは今回が初めてでした。欠航の影響による滞在期間短縮もありましたが、結果的にデトロイトで航空機乗り換えや、ラスベガスからトーランスまでのバス移動などを経験出来た事も忘れられない思い出です。

この姉妹都市交流によって六千キロメートルも離れた場所にかげがえのない友人と二つの新しい家族ができました。このような体験をさせてくださった柏市、KIRA、TSCA そして多くの関係者の方々に本当に感謝致しております。ありがとうございました。

